LAN ケーブルテスター

『ワイヤーエキスパート WX4500』

取扱説明書

保証

正常な使用状態にも関わらず万一故障などが生じ、損傷がお客様に起因するものではないと判明した場合は出荷日から1年以内に限り無償で修理または交換致します。
なお製品保証は日本国内のみで有効です。

ただし下記のような場合には、保証期間中でも保証の対象外となります。
1）不適当な取扱いまたは使用による故障。
2）取扱説明書に記載された事項に違反した取扱い、保管による故障。
3）弊社に無断で改造または修理したことによる故障。
4）火災、水害などの天災が原因で発生した故障。
5）シリアルナンバーを変更した場合。
6）弊社非公認の代理店による保証契約の場合。

製品が返送された場合､その損傷が保証期間内に正常な使用方法で起こったものかどうかを判断するための費用についても請求させて頂く場合があります。
キャリングケース及びアクセサリ類は保証の対象外です。

機器の校正、修理

機器の校正、修理が必要な場合は、損傷を受けないように梱包して代理店又は弊社あてに、全ての付属品、アクセサリを含めて返送して下さい。
返送の際は下記事項をご記入下さい。
・製品の型番、シリアルナンバー
・お客様の連絡先（お名前、住所、電話番号等）
・不具合の内容、考えられる原因など

技術ライセンス

本書に記載されているハードウェアおよびソフトウェアは、ライセンスにもとづいて装備されており、ライセンスの条項の範囲内での利用または複製を許諾されております。
ただし本体機器は、予告なしに改良変更する場合があります。

注意

本書は、国際著作権法により形式または方法（電子的保存または他の言語への翻訳を含む）を問わず、Psiber Dataからの書面による事前承諾なしに複製することを禁じます。

安全に関する注意

注意

この表示は誤った操作、手順、実行などに伴う注意を喚起するものです。適切に操作しない場合には、製品やデータの損失が生じる可能性があります。記載されている条件を理解し、注意事項を厳守して操作をしてください。

警告

この表示は操作、手順、実行などの取り扱いを誤ったり、適切に操作しない場合には、死亡または重症を負う可能性があります。記載されている条件を理解し、注意事項を厳守して操作をしてください。

取扱いに関する注意

警告

・機器が破損している場合は使用しないでください。
・機器を使う前に筐体にひび割れやプラスチック部品の欠損がないか確認して
ください。
・爆発性ガス、水蒸気、ホコリのある場所で機器を操作しないでください。
・必ず付属のアクセサリ、ケーブル類を使用してください。
・接続作業を行なう場合は、機器に付いているマークを常に確認してください。
・入力/出力ターミナルに接続する場合は、機器とアプリケーションシステムの
電源を切ってください。
・部品や付属品を交換する場合は、指定部品をご使用ください。
・筐体を開けたり、ゆるめた状態で操作しないでください。
・ACアダプタは、製造元が供給する製品のみをご使用ください。

注意

・指示以外の方法で機器を使用した場合は、機器に対する保証が無効になることが
あります。
・機器を清掃する場合は必ず乾いた布を使用し、エチルアルコールなどの揮発性溶剤
は使用しないでください。
・機器の通気口を塞がないでください。

使用環境

この機器は屋内および低結露環境でご使用ください。機器の使用環境の概要を示します。

利用環境	要件
操作温度	0 ℃から 50℃
操作湿度	20% から 85% RH non-condensing
保管温度	-20℃から 70℃
保管湿度	5%から 90% RH non-condensing

備考

ワイヤーエキスパートWX4500は、以下の安全基準要件に準拠しています。

DIN EN 55024、Edition:2003-10 (IEC/CISPR 24:1997、modified + A1:2001 + A2:2002)、
EN 55024:1998 + A1:2001 + A2:2003

DIN EN 55022、 VDE 0878-22:2008-05 (IEC/CISPR 22:2005、modifiziert + A1:2005)、
EN 55022:2006 + A1:2007

安全マーク

CE	CEマークは、European Communityに登録された安全マークです。このCEマークは、製品が欧州の法規に適合するものであることを示します。

Declaration of Conformity

CE

Manufacturer's Name	:	Psiber Data Pte. Ltd.
Manufacturer's Address	:	#03-005, iHub, 9 Jurong Town Hall Road, Singapore 609431

Declares under sole responsibility that the product as originally delivered

Model Number	:	WireXpert, WX4500-FA
Description	:	Class FA Copper Certification Kit
Equipment	:	Cable Certifier

complies with the essential requirements of the following applicable European Directives and carries the CE marking accordingly:

DIN EN 55024, Edition:2003-10 (IEC/CISPR 24:1997, modified + A1:2001 + A2:2002); EN 55024:1998 + A1:2001 + A2:2003

DIN EN 55022;
VDE 0878-22:2008-05 (IEC/CISPR 22:2005, modifiziert + A1:2005);
EN 55022:2006 + A1:2007

Date: December 14, 2010

Quality Management Signature

Arvind C Patel
Psiber Data Pte. Ltd.
www.psiberdata.com

目次

はじめに

- 保障
- 機器の校正修理
- 安全に関する注意
- 取扱いに関する注意
- 使用環境
- 安全マーク
- Declaration of Conformity

第１章 ワイヤーエキスパート WX4500 について

- 構成品
- ワイヤーエキスパート WX4500 本体各部名称･説明
- ワイヤーエキスパート WX4500 用アクセサリ
- デュアルコントロールシステム（DCS）について
- ワイヤーエキスパートテストアダプタ
- パーマネントリンクアダプタとチャネルアダプタ
- アダプタ設定警告機能
- 光ファイバーテストアダプタ
- ケーブル認証試験について
- パーマネントリンク試験
- チャネル試験
- ユーザーインターフェイス（タッチパネルについて）
- ワンタッチコンセプト
- 機器の設定
- オートテスト
- データ画面
- ツール画面
- ワイヤーエキスパート WX4500 のソフトウェアについて
- テストアダプタ検知機能
- メモリについて
- メモリ件数
- 試験結果保存件数（参考）
- バッテリ情報
- 外部電源の使用
- バッテリの安全の為に
- 電源
- 接続部
- 寸法
- 環境

第２章 ワイヤーエキスパートの使用方法

- 機器のソフトウェアバージョンのチェック方法
- 使用するアダプタの適性確認方法
- ソフトウェアのアップグレード方法
- 日付/時刻の設定方法
- 試験項目の選択方法
- ケーブルタイプの選択方法
- メインユニットとリモートユニットのリファレンス設定
- ケーブル認証試験の実施方法
- テスト結果の保存方法は？
- 試験結果を自動的に保存する設定
- 新しいサイトの追加方法
- テスト結果のラベリング変更方法

・テスト結果を保存するためのランベリング方法
・テスト結果をレポートエキスパートに移動またはコピーする方法
・USB ドライブに保存したテスト結果を PC にエクスポートする方法
・テスト結果を Excel や PDF で出力する方法
・オート･パワーオフの時間設定の方法
・デモ･モードについて
・内部フラッシュの初期化の方法
・バッテリの交換方法

第３章 ケーブル認証試験について

・サイト情報の入力
・ラベリング形式の選択
・シンプル･ラベル
・TIA 606-A Class１ラベリング
・TIA 606-A Class２ラベリング
・アダプタ設定
・アダプタ挿入カウント
・テスト項目の設定
・ケーブルタイプの設定
・コネクタタイプの設定
・オートテストの実行

第 1 章 ワイヤーエキスパート WX4500 について

構成品

ワイヤーエキスパート WX4500
（メインユニット 1 台、リモートユニット 1 台）

校正証明書

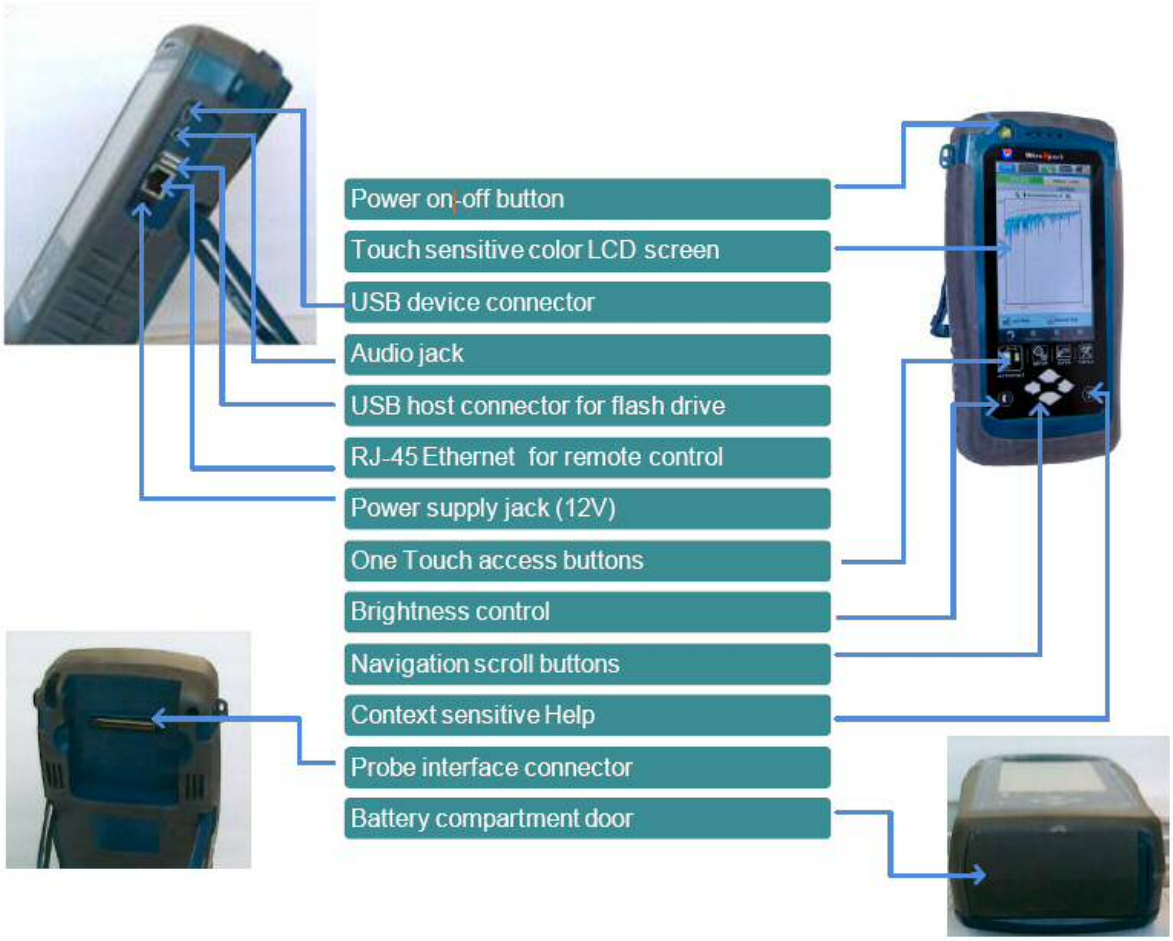
CAT6A パーマネントリンクテストアダプタ

CAT6A チャネルアダプタ

電源アダプタ

ソフトケース

ワイヤーエキスパート WX4500 本体各部説明



操作部	機能
電源オン/オフボタン	機器の電源オン/オフに使用します。電源をオンにする場合は 4 秒間、オフにする場合は 2 秒間押し続けてください。またオン/オフボタンは本体バッテリが充電中であることを表示します。詳細はバッテリ充電の項目をご確認ください。
タッチパネル式 LCD 画面	WX4500 はタッチパネル式画面を採用しています。
ミニ USB ポート	ただしソフトウェア v1.0 には対応していません。
オーディオジャック	ワイヤーエキスパートキットにはヘッドセットが 2 組含まれています。メインユニットとリモートユニットの通信は、ヘッドセットを端子に挿入して行って下さい。
USB ポート	保存しているテスト結果の抽出やファームウェアのアップグレード時に使用します。
RJ-45 コネクタ	ただしソフトウェア v1.0 には対応していません。
電源ポート	機器を充電する時に使用します。WX4500 に付属している AC アダプタを使用してください。
メインメニューボタン	メインメニューにワンタッチでアクセスできます。
コントラストボタン	画面輝度を調節します。
上下左右スクロールボタン	項目をスクロールアップ/ダウンします。
ヘルプボタン	ヘルプメニューにアクセスします。
テストアダプタスロット	適切なテストアダプタを接続して下さい。
バッテリ収納ボックス	バッテリ交換の場合は、ネジをゆるめてボックスの蓋を開けてください。

ワイヤーエキスパート WX4500 用アクセサリ

製品番号	製品名	概要
WX4500-FA	WX4500 ワイヤーエキスパート Class FA キット(Class FA 用テストアダプタは含まれません)	ワイヤーエキスパート WX4500-FA（メインユニット&リモートユニット)： CAT6A チャネルアダプタ 1 組、CAT6A リンクアダプタ 1 組、ClassFA ケーブル認証ソフトウェアライセンスで構成
WX_AD_MM2	WX4500 マルチモードアダプタペア	マルチモードファイバーアダプタセット： 波長 850nm および 1300nm、二波長(850nm VCSEL および 1300nm LED 光源)での認証検査用
WX_AD_SM2	WX4500 シングルモードアダプタペア	シングルモードファイバーアダプタセット： 波長 1310nm /1550nm での認証検査用
WX_AD_6ACH2	WX4500 CAT6A チャネルアダプタペア	CAT6A までのチャネル試験用テストアダプタ x 1 組
WX_AD_6ALKIT2	WX4500 CAT6A パーマネントリンク試験キット	CAT6A までのパーマネントリンク試験用キット： CAT6A パーマネントリンクアダプタ WX_AD_6ALINT1 x 1 組 および CAT6A パーマネントリンクテストコード WX_AC_6ALCOAD x 1 組で構成
WX_AD_6ALINK1	WX4500 CAT6A パーマネントリンク試験用アダプタ	CAT6A までのパーマネントリンク試験用テストアダプタ： パーマネントリンクコード WX_AC_6ALCORD と組合せて CAT6A までのパーマネントリンク試験をサポート。
WX_AC_6ALCORD1	WX4500 CAT6A パーマネントリンク試験用テストコード	CAT6A パーマネントリンク試験用テストコード： パーマネントリンク試験アダプタ WX_AD_6ALINT と組合せて CAT6A までのパーマネントリンク試験をサポート。
WX_AD_TERACH2	WX4500 CLASS FA TERA チャネルアダプタペア	Class FA チャネルアダプタ x 1 組： Class F/Class FA チャネル試験に対応
WX_AD_TERAL2	WX4500 CLASS FA TERA パーマネントリンクアダプタペア	Class FA パーマネントリンクアダプタ x 1 組： Class F/Class FA パーマネントリンク試験に対応
WX_AD_GGARJCH2	WX4500 CLASS FA GG45/ARJ45 チャネルアダプタペア	Class FA チャネルアダプタのペア： GG45/ARJ45 インターフェース付、Class F/Class FA チャネル試験に対応
WX_AD_GGARJL2	WX4500 CLASS FA GG45/ARJ45 パーマネントリンクアダプタペア	Class FA パーマネントリンクアダプタ x 1 組： TE GG45/ARJ45 インターフェース付、Class F/Class FA パーマネントリンク試験に対応
WX_AC_BAT	WX4500 バッテリパック	
WX_AX_SCASE	WX4500 ソフトケース	
WX_AC_HCASE	WX4500 ハードケース	
WX_AC_TALKSE1	WX4500 トークセット	
WX_AC_PWRAD	WX4500 AC アダプタ	WX4500 用 AC アダプタ

デュアルコントロールシステム（DCS)について

WX4500 はメインユニットとリモートユニットの２台で構成されています。両機器は同じ形をしておりますが、機器下部のラベルを確認することで区別できます。両機器共にタッチパネル式 LCD とメニューボタンが付いています。WX4500 はメインユニット側だけでなくリモートユニットからでもテストの開始、結果の表示(グラフを除く)、結果の保存を行うことができます。

ワイヤーエキスパートテストアダプタ

テストアダプタは、機器上部のアダプタスロットに装着して下さい。WX4500 に接続されたテストアダプタは自動検知されテスト時に適切なアダプタが装着されているかを判断します。

パーマネントリンクアダプタとチャネルアダプタ

WX4500 テストキットには、リンクアダプタとチャネルアダプタが付属しています。
各アダプタからの伝送特性は、本機のソフトウェアで補正されており試験結果に影響を与えることはありません。

リンクアダプタは、情報コンセントやパッチパネルに接続してください。
リンクアダプタは、精度の高い測定ができるように設計されています。リンク測定では、リンクアダプタの RJ-45 プラグとリンクコードの性能が大きく関わります。よってリンクコードの劣化は測定精度に大きく影響を与えます。

従来の LAN ケーブルテスターでは、正確な測定を行う為にリンクアダプタを頻繁に交換する必要があり、運用コスト増加の一因になっていました。WX4500 のパーマネントリンクアダプタは、リンクコード部をアダプタ部から取り外すことができますのでリンクアダプタまたはリンクコードのみ交換することができ、運用コストを大幅に減らすことができるようになりました。

チャネルアダプタは、情報コンセントやパッチパネルに接続されているユーザーのパッチコードと接続してください。

リンクアダプタ

チャネルアダプタ

アダプタ設定警告機能

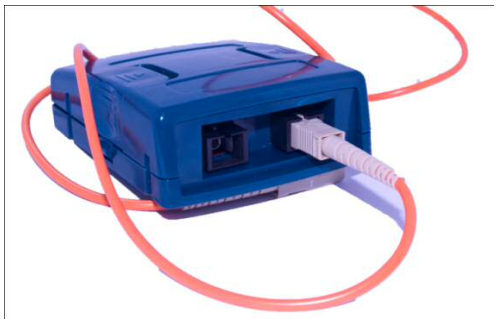
テスト項目に適合しないテストアダプタを本体に取付けて測定を行うとアラームが表示されます。
適合していないアダプタでテストを行うと測定精度が落ちます。特にカテゴリ 6A、カテゴリ 7 では重要です。

注意

WX4500 のテストアダプタやリンクアダプタを電話端子などの電源に接続しないでください。過電圧が機器本体やテストアダプタを損傷させる可能性があります。この場合は保証の対象にはなりません。

光ファイバーテストアダプタ

WX4500 の光ファイバーテスト用アダプタには、マルチモード用とシングルモード用の２種類があります。



下記モデル No. より選択して下さい。
・シングルモード（波長 1310nm/1550nm）用：　製品番号 WX_AD_SM2
・マルチモード（波長 850nm/1300nm）用：　製品番号 WX_AD_MM2

シングルモード光ファイバーアダプタは、２波長の FP レーザー光源です。
マルチモード光ファイバーアダプタには、850nm の VCSEL 光源と 1300nm の LED 光源があります。

ケーブル認証試験について

WX4500 ではケーブル認証試験が簡単に行えます。オートテスト機能によりメインユニットとリモートユニットに接続されているケーブルが規格に準拠しているかを測定、分析して合否判定を行います。

ツイストペアケーブルの認証試験では、LAN ケーブルの性能をケーブルの両端からテストします。試験はメインユニットとリモートユニットを使用して行ってください。
テストを実施する前に下記の点にご注意下さい。

- 設定がパーマネントリンク試験かチャネル試験か確認してください。
- 選択するテスト規格(カテゴリー または Class)を確認してください。

パーマネントリンク試験

パーマネントリンク試験は主にケーブルのインストール時に行います。試験ではユーザーパッチコードを含まないため規格値はより厳しいものになります。この試験ではパーマネントリンクアダプタを使用して行ってください。

チャネル試験

チャネル試験はユーザーパッチコードを含んだ状態で行います。試験はチャネルアダプタを使用して行ってください。

ユーザインターフェース

タッチパネルについて

WX4500 のタッチパネルは、３つの表示部に分けられています。
画面上段は機器の情報（メインユニットまたはリモートユニット）、機器名、テスト結果保存件数残量、バッテリー残量を表示します。
画面中央部では機器の操作を行います。
画面下段にあるナビゲーションタブでは、設定画面の切り替え、ファイル操作、機器情報を表示します。

画面下部のワンタッチアクセスセグメントでは、オートテスト、機器のセットアップ、データベースの表示/編集、その他の設定画面への切換がワンタッチで行えます。

ワンタッチコンセプト

WX4500 のユーザインターフェースはワンタッチで簡単に操作できます。
主に次の４つの操作を行います。

① ケーブル認証試験のオートテスト
② オートテストの設定
③ 機器に保存されたデータの管理（保存結果の確認、変更、消去など）
④ 上級者向けの詳細設定や測定

これら機能を操作するために４つのタッチレンズボタンがあります。

① AUTOTEST（オートテスト実施ボタン）
② SETUP（設定ボタン）
③ DATA（データ管理設定ボタン）
④ TOOLS（その他のオプション操作）

各タッチレンズボタンを押すことにより、各項目にワンタッチで素早くアクセスできます。

機器の設定

WX4500 のセットアップ画面には下記のような 3 画面があり、画面下段のナビゲーションタブで各画面が表示できます。

・テスト設定画面：オートテストを行う為のテスト項目、ケーブルタイプ、テスト結果保存時のファイル名などの設定が行なえます。
・機器設定情報画面：日付/時刻、自動電源オフ、テスト結果のオートセーブなどの設定が行えます。
・機器情報画面：機器のシリアル No、ソフトウェアバージョン、校正年月日、接続されているテストアダプタの情報が表示されます。

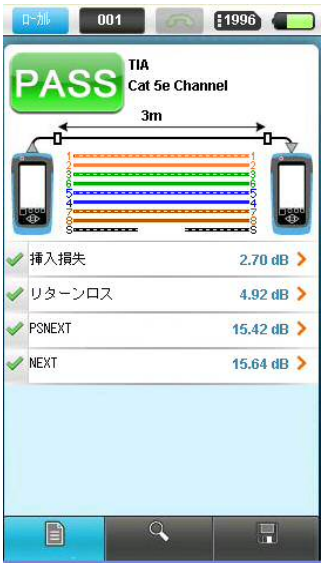
テスト設定画面

機器設定情報画面

機器情報画面

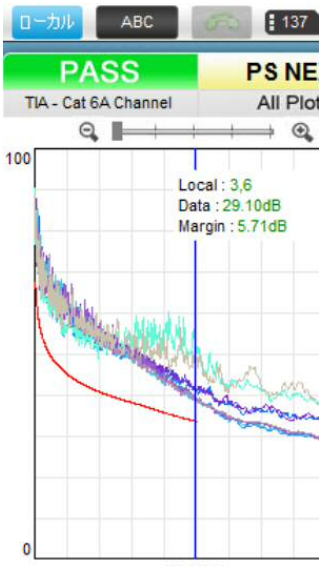
オートテスト

メインユニットとリモートユニットを正しく接続した後 AUTOTEST ボタンを押すとケーブル認証試験が開始され、オートテストが終了すると、テスト結果のサマリー画面が表示されます。
テスト結果は画面左上に表示され、ナビゲーションタブで詳細結果とグラフの表示、テスト結果の保存ができます。



サマリー画面

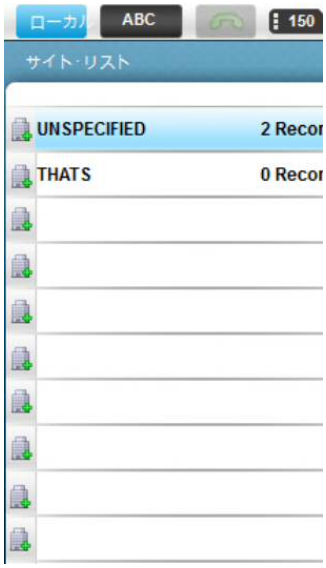
詳細結果



グラフ

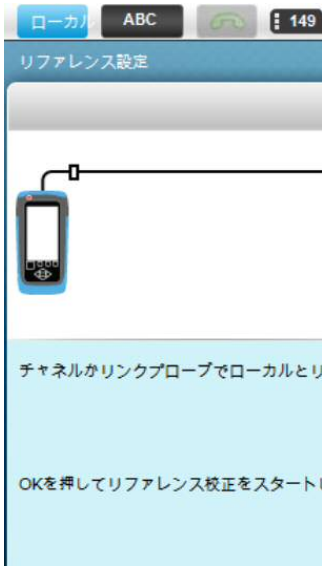
データ画面

データ画面では、テストサイトの管理、テスト結果の確認、管理を行い、テストサイトの追加や削除、ファイルの削除、ファイル名の変更等が行えます。 これらの作業は PC を使用しなくても WX4500 本体で行えます。



ツール画面

ツール画面では、ケーブル認証試験以外の測定と機器のリファレンス等が行えます。



ワイヤーエキスパート WX4500 のソフトウェアについて

テストアダプタ検知機能

WX4500 のソフトウェアは、メインユニットおよびリモートユニットに接続されたテストアダプタを自動検知し、テストアダプタに適合するテストプログラムを設定します。選択したテスト項目とテストアダプタの仕様が一致しない場合は、エラーメッセージを表示します。

WX4500 は使用するアダプタによってカテゴリ 6、カテゴリ 6A、カテゴリ 7 までのケーブル認証試験が行えます。

光ファイバーケーブルの認証試験は、別売の光ファイバアダプタテストセットで行えます。
使用するアダプタについてのご質問は販売店にお問い合わせ下さい。

レポートのプリント、テスト結果の保存、ソフトウェアのアップグレード、ファイルのダウンロードは、PC ベースのデータ管理ソフトウェア『レポートエキスパート』と Windows PC(Windows 2000 以上)で行えます。
ファイルの移動、ソフトウェアのアップデートは USB メモリで行えます。

メモリについて

内部フラッシュメモリ：1GB
USB メモリ(1GB)標準添付

メモリ件数

試験結果の保存可能件数は設定によって変わります。グラフを保存すると保存可能件数は少なくなります。
WX4500 の本体内部フラッシュメモリは約 1GB ですが、正確なメモリ容量は、ワイヤーエキスパート WX4500 ソフトウェアのサイズによって決まります。
保存可能件数については下記表をご参照下さい。市販の USB メモリも使用可能です。

試験結果保存件数（参考）

オートテスト設定	容量（記録可能件数）	
	内部フラッシュメモリ(1GB)	USB メモリ(2 GB)
カテゴリー6、6A、7（グラフ含む）（1 GHz）	2000 件	4000 件

バッテリ情報

WX4500 のメインユニットおよびリモートユニットは電源として充電式リチウムイオンバッテリを使用しています。
このバッテリには WX4500 の充電状態をモニターする回路が付属されています。
それぞれの機器は AC アダプタでも作動します。AC アダプタに接続すると同時にバッテリ充電も行います。
一回のフル充電で約 5～8 時間作動します。画面輝度を下げたり、スリープ機能を利用すると作動時間をさらに延ばすことができます。

警告
充電直後のバッテリには熱が残っています。このような状況の時にワイヤーエキスパートの校正や操作は行わないでください。

本機は適切な温度下で管理して下さい。温度が上昇した場合は機器を適切な環境下に移動させてください。
不明な点は販売店にお問い合わせください。

外部電源の使用

キットに標準添付されている AC アダプタを必ずご使用下さい。

注意

WX4500 キットに標準添付されている AC アダプタを必ず使用してください。それ以外の電源機器を使用すると機器が損傷する恐れがあります。この場合は保証の対象にはなりません。

- 機器側面にある充電端子にケーブル端を接続してください。
- 適切な AC 電源に接続するようにしてください。

バッテリの安全の為に

● バッテリパックの発火、損傷を防ぐためにバッテリの接点に金属物を接触させないようにしてください。
● バッテリパックは、WX4500 のみに使用して下さい。
● バッテリパックは絶対に分解しないでください。バッテリパックを火中や水中に投棄しないでください。
● 損傷または液漏れしているバッテリは慎重に取り扱ってください。
万一電解液が付着した場合は、付着部分を石鹸水で十分に洗ってください。電解液が目に付着した場合は、流水で 15 分 間洗いすぐに病院で治療してください。
● バッテリパックは高温(約 55℃以上)で保管しないでください。
● バッテリパックを破棄する場合は、リチウムイオン電池の破棄またはリサイクルに関して所轄の清掃局にお問い合わせください。
● 交換用の電池を購入する場合は販売店にお問い合わせください。
● 環境温度が 40℃以上の場合はバッテリパックの充電を避けてください。

電源

- 交換型充電式リチウムイオンバッテリ（連続操作時間８時間）
- 100VAC アダプタ

接続部

- インターフェースコネクタ
- 付属 10/100Mbit/s イーサネットポート RJ-45
- ユニバーサル・シリアル・バス (USB1.1)ポート
- トークセット・インターフェース: 3.5mm ステレオ端子

寸法

- サイズ: 220mm x 110mm x 53mm
- 重量 約 0.9 kg

環境

- 操作温度: ０℃ ～ +４０℃
- 保管温度: -１０℃ ～ +５５℃
- 湿度: １０% ～ ８０%

第 2 章 ワイヤーエキスパートの使用方法

機器のソフトウェアバージョンのチェック方法

SETUP ボタン ⇒ i(インフォメーション)タブと進むとソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョン、次回校正日（メーカー推奨日）が確認できます。

使用するアダプタの適正確認方法

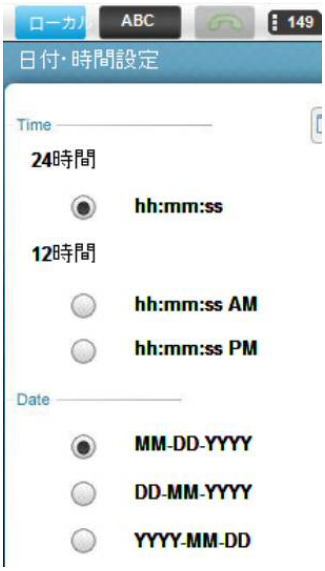
機器に接続されているテストアダプタはテストアダプタで確認できます。

ソフトウェアのアップグレード方法

WX4500 本体のソフトウェアをアップグレードするには、レポートエキスパートから USB メモリにファームウェアをインストールしてください。機器本体の USB ポートに USB メモリを挿入するとワイヤーエキスパートの画面が下のように表示されます。ソフトウェアアップデート開始を選択するとメッセージが表示されます。「はい」を選択してソフトウェアのアップグレード を行ってください。

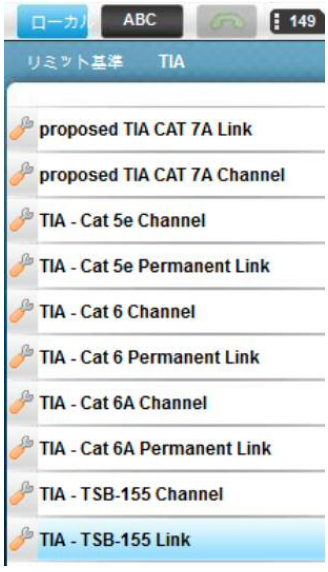
日付/時刻の設定方法

SETUP⇒システム環境（Navigation タブのまん中）の画面で日付･時間を選択してください。下の画面が表示されますので、編集ボタンを押すと日付と時刻の設定または変更が行えます



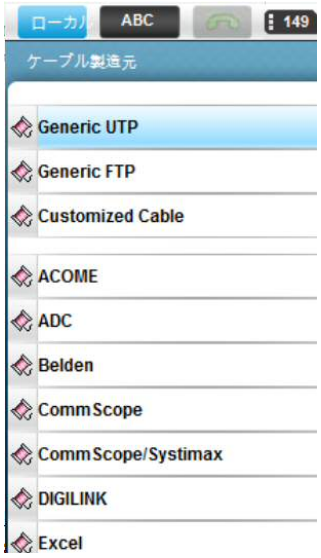
試験項目の選択方法

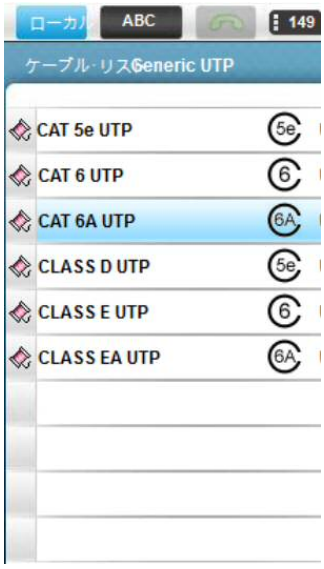
タッチレンズ『SETUP』ボタンから試験設定タブに進み、画面最上部のテスト規格メニューを選択すると、テスト規格の選択が行えます。



ケーブルタイプの選択方法

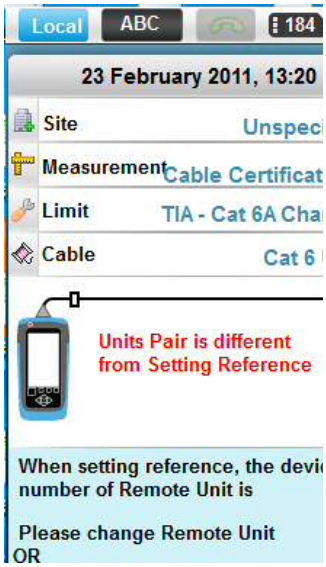
テスト規格の下にあるケーブルメーカーを選び、測定したいケーブルのメーカー名を選択するとケーブルリストが表示されますので、測定ケーブルを選択して下さい。ケーブルメーカー名がリストに記載されていない場合は、Generic を選択し、次に規格を選択して下さい。



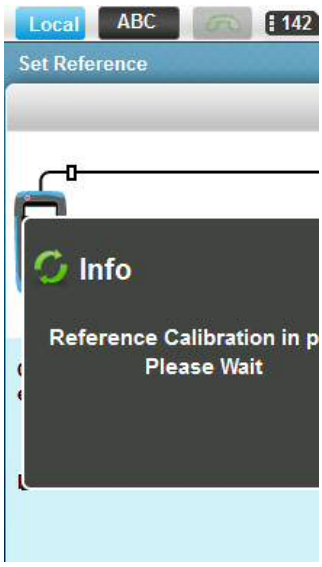


メインユニットとリモートユニットのリファレンス設定

メインユニットとリモートユニットを初めてペアで使用する場合は、リファレンスを行うことを推奨します。メインユニットとリモートユニットのソフトウェアバージョンやリファレンス校正が一致していない場合は、下図の様なメッセージが表示されますので、リモートユニットを交換するかリファレンスを行って下さい。

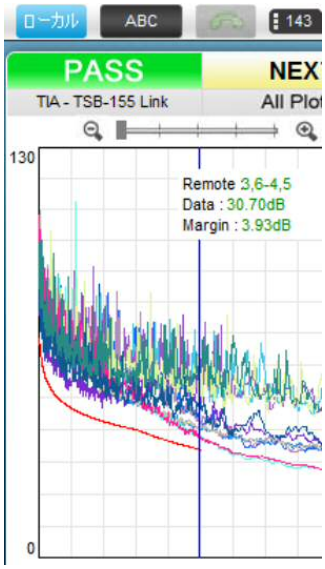


リファレンス測定を行なうには、タッチレンズ『TOOLS』ボタンでリファレンス測定アイコンを選択してください。メインユニットにパーマネントリンクアダプタを、リモートユニットにチャネルアダプタを取り付け両機を接続して「OK」を押すとリファレンスが開始されます。 終了後に「合格」「不合格」いずれかのメッセージが表示されます。



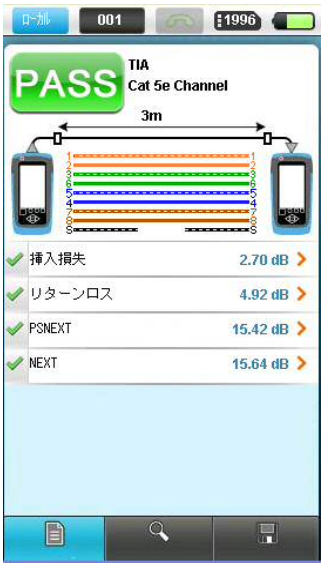
ケーブル認証試験の実施方法

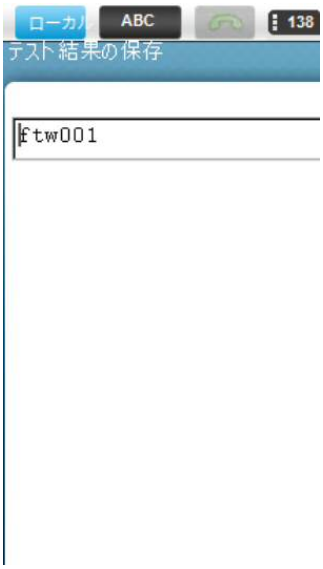
ケーブル認証試験のセットアップを一度行うと次回から『AUTOTEST』ボタンを押すだけで同じ設定での試験が実行されます。試験終了後に合否判定メッセージとテストサマリーが表示されます。



テスト結果の保存方法

テスト終了後、画面右下の保存ボタンを押すとテスト結果を保存することができます。ラベリングを選択すると、そのラベルが自動的に選択されます。またユーザーで設定した名前の入力も可能です。





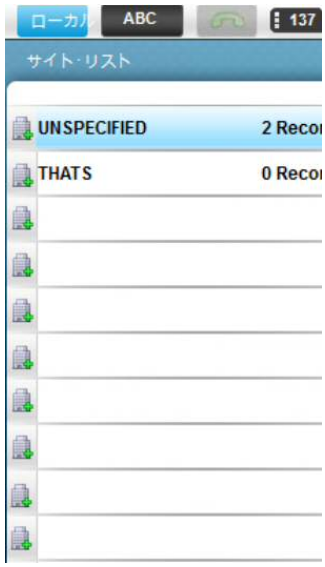
名前部分をクリックするとキーパッドが表示されます。名前を入力して保存ボタンを押してください。

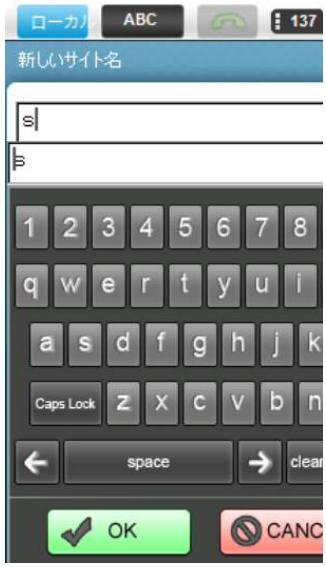
試験結果を自動的に保存する設定

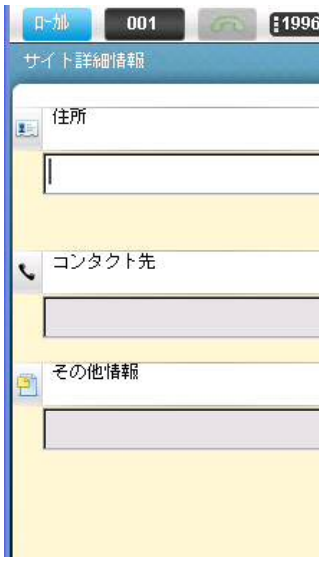
オートセーブ設定を行うと試験終了後に試験結果が自動的に保存されます。オートセーブ機能を ON にするには、タッチレンズ『SETUP』⇒ オートセーブメニューから設定を選択してください。

新しいサイトの追加方法

認証試験のサイトを追加するには、セットアップのサイトを選択しワンタッチメニューで「新」（ナビゲーションタブの一番右側 ⇒）をクリックし、キーパッドを使ってサイト名を入力してください。住所、コンタクト先、その他の情報も入力できます。

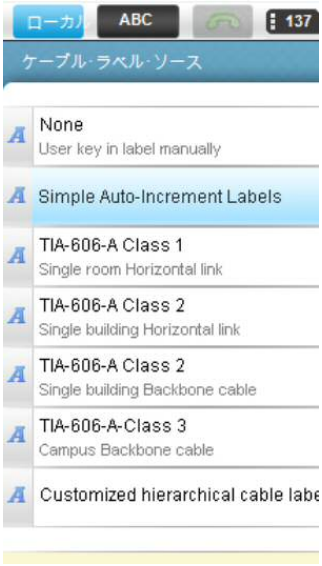






テスト結果のラベリング変更方法

セットアップ画面のラベル・ソースを選択し、次の画面で規格またはカスタマイズを選択してください。



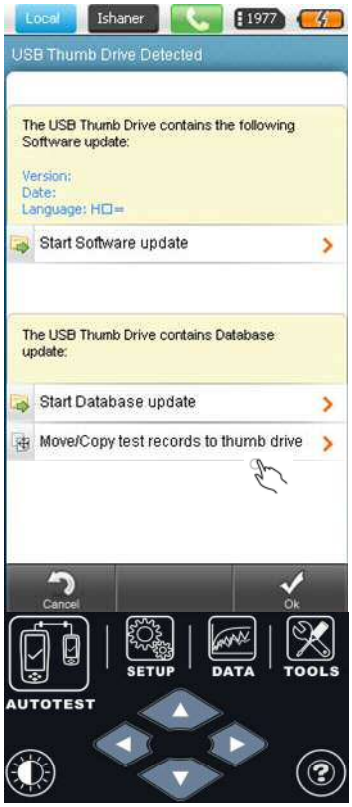
ラベリング方法についての詳細は次章をご参照ください。

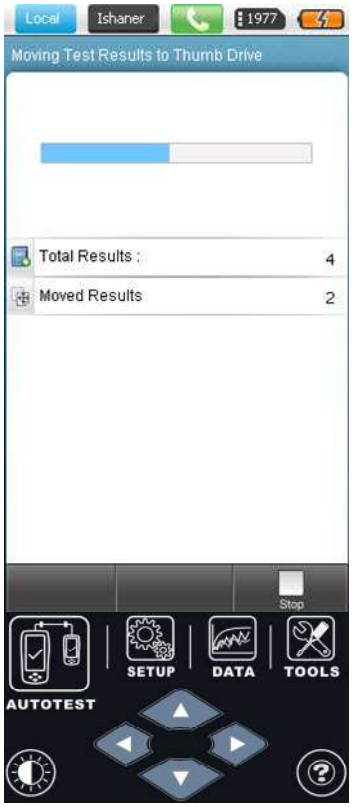
テスト結果を保存する為のラベリング方法

WX4500 のラベリングには連番機能があります。テスト終了後に固定したラベル名の後に番号が連番で振られていきます。TIA 606 で決められたラベリング方法で保存する場合、Class 1、 Class 2、Class 3 をサポートしているので適当なものを選択してください。

テスト結果をレポートエキスパートに移動またはコピーする方法

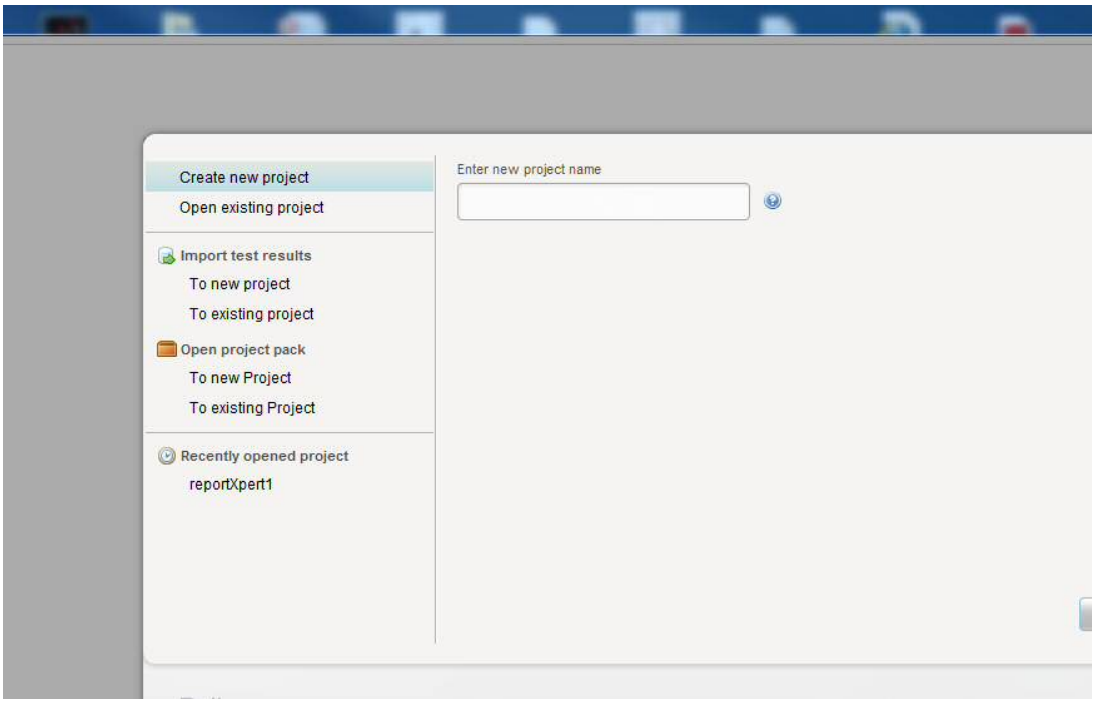
ReportXpert は、WX4500 のテスト結果を保存、管理、レポート作成を行うための PC ベースのソフトウェアです。
テスト結果を WX4500 から PC ソフトウェアへ移動するには USB ドライブが必要です。WX4500 本体に USB ドライブを挿入すると、WX4500 が USB ドライブを検知し、画面にオプションリストが表示されます。
Move test records to thumb を選択すると、テスト結果を USB ドライブに移動しますので WX4500 本体にその結果は残りません。
Copy test records to thumb を選択すると、テスト結果を USB ドライブにコピーしますのでテスト結果は WX4500 本体に残ります。



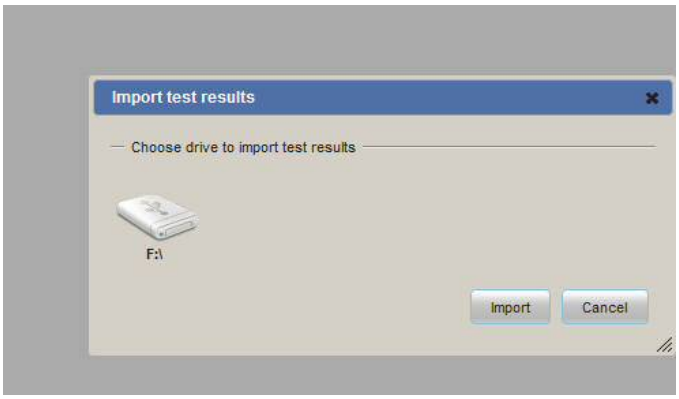


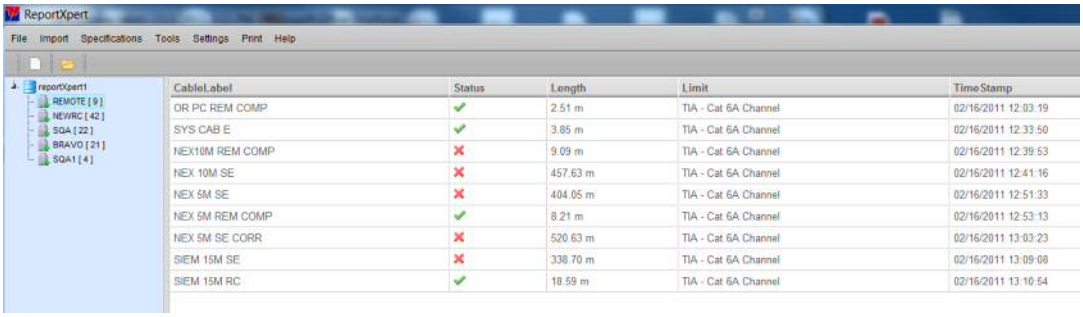
USB ドライブに保存したテスト結果を PC にエクスポートする方法

PC に USB ドライブを挿入し、ReportXpert を起動させてください。

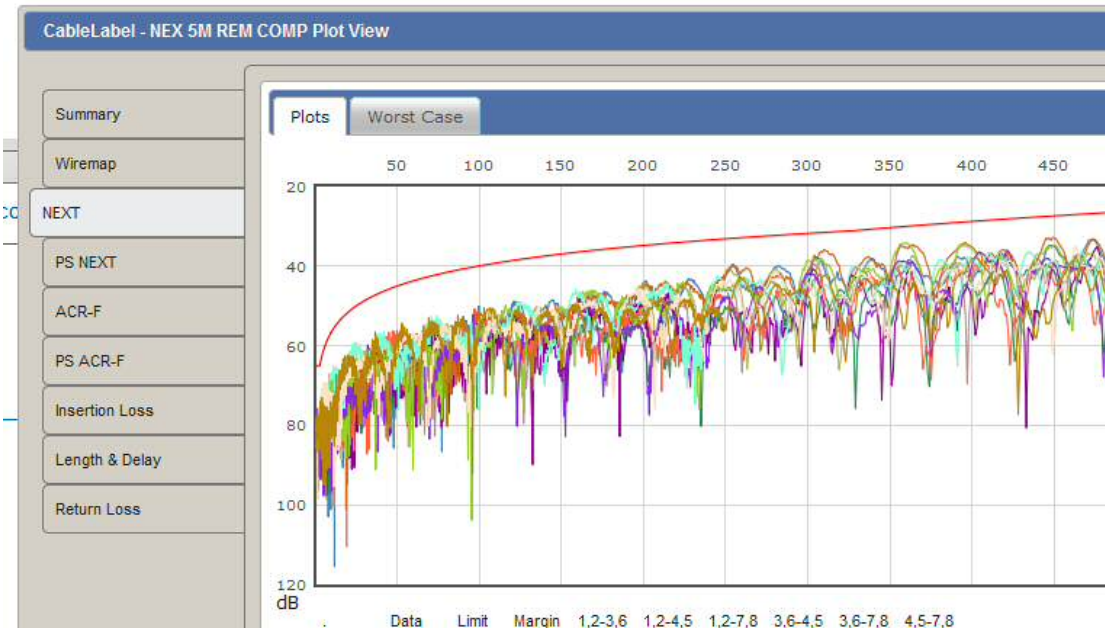


アプリケーションが起動したら、USB ドライブからテスト結果をインポートしてください。
アプリケーション上でテスト結果のインポート状況を確認できます。



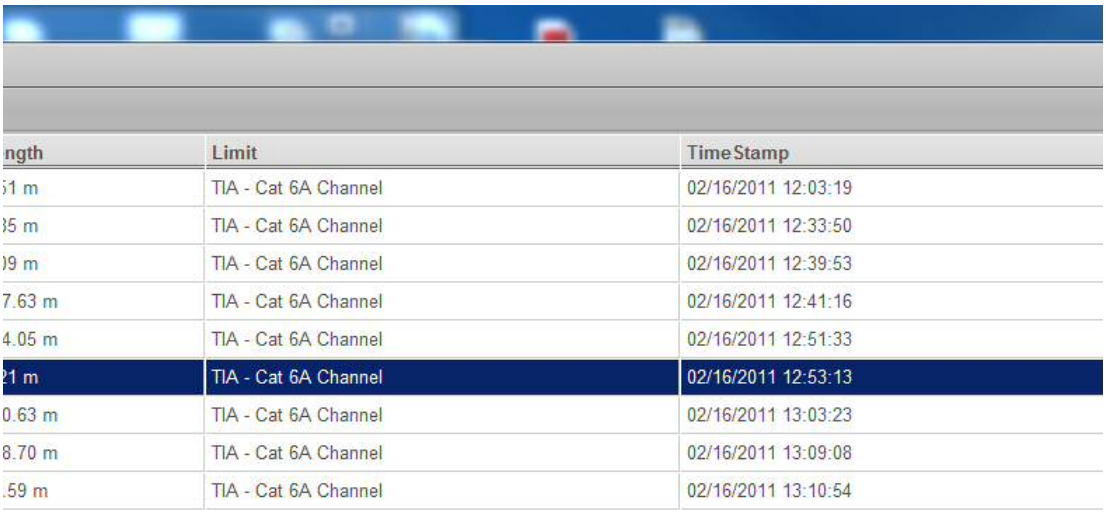


それぞれの試験結果をクリックすれと、その詳細結果を見ることができます。



テスト結果を Excel や PDF で出力する方法

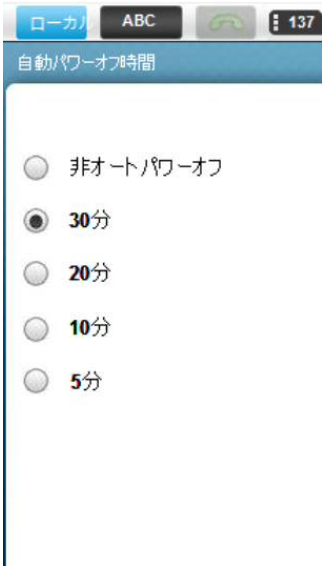
リスト上の Excel または PDF アイコンをクリックすると、Excel または PDF でレポートを作成できます。



ngth	Limit	TimeStamp
51 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 12:03:19
35 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 12:33:50
09 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 12:39:53
7.63 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 12:41:16
4.05 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 12:51:33
21 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 12:53:13
0.63 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 13:03:23
8.70 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 13:09:08
.59 m	TIA - Cat 6A Channel	02/16/2011 13:10:54

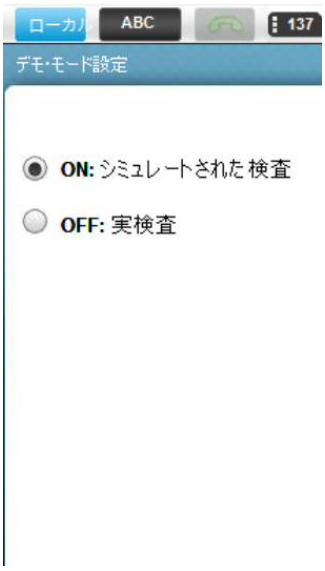
オート・パワーオフの時間設定の設定方法

セットアップ画面のナビゲーションタブまん中画面でオート・パワーオフ時間を設定できます。



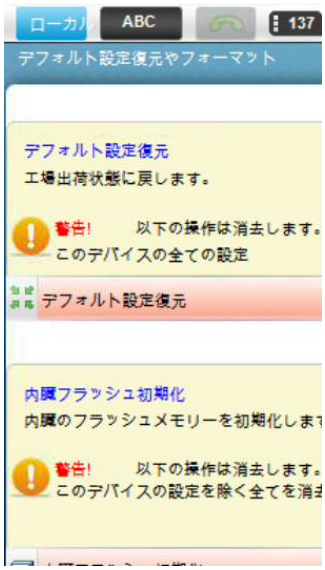
デモ・モードについて

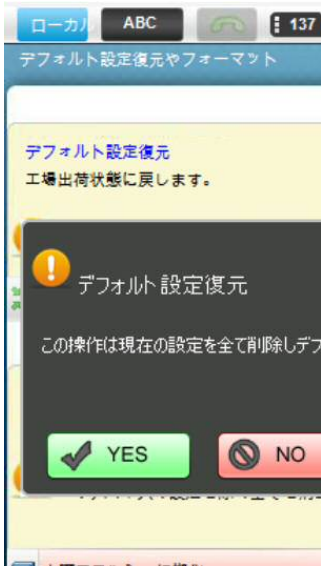
ワイヤーエキスパート WX4500 にはデモ・モードがあります。このモードでは、テストのシュミレーションを行うことができます。デモ・モードと実際のテストモードの切り替えは、SETUP 画面のナビゲーションまん中のデモ・モードで行えます。



内部フラッシュの初期化の方法

SETUP 画面のナビゲーションまん中のデモ・モード『デフォルト設定復元』で機器のすべての設定と内部フラッシュメモリの初期化が行なわれ工場出荷時の初期設定になります。





注意

初期化を行うと、機器の現在の設定と全ての保存データが消去されます。
一度消去した設定やデータを元に戻すことはできません。

バッテリの交換方法

バッテリは機器の底部にあります。バッテリの取り出し方法は下記の通りです。

1. 機器の電源をオフにし、外部電源を取り外して下さい。
2. バッテリカバーのネジをゆるめ、蓋を開けて下さい。
3. バッテリを取り出し新しいバッテリを挿入ししてください。
4. カバーを閉じてネジを確実に締めてください。

第 3 章 ケーブル認証試験について

サイト情報の入力

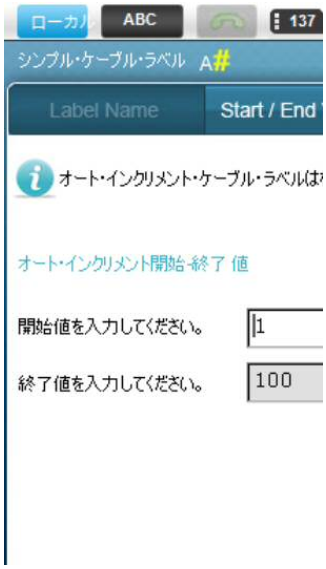
新規でケーブル認証試験を行う前には、新サイトの作成によってサイト情報をワイヤーエキスパートに設定することをお奨めします。このサイト情報は PC ソフトウェアの ReportXpert にも反映されます。

ラベリング形式の選択

WX4500 は、保存したテスト結果のラベリングについて多様な方法をサポートしています。
標準的なラベリング方法(TIA 606A に準拠)以外の方法でもファイル管理が行えます。

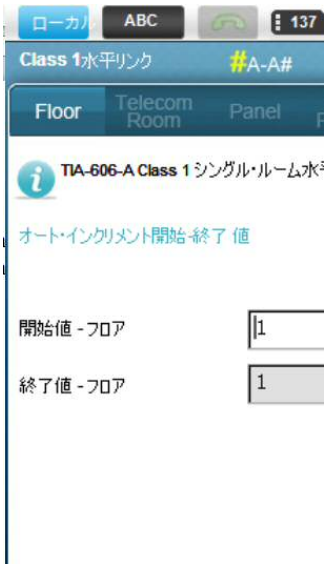
シンプル・ラベル

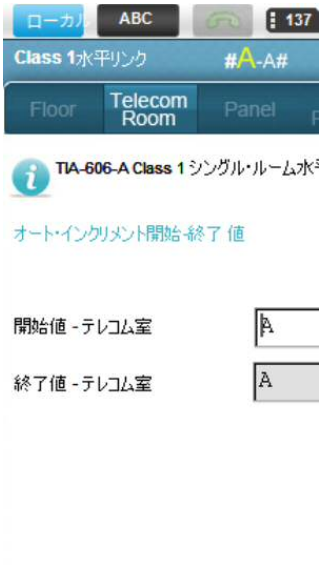
シンプル・ラベルを使用すると、試験終了後に番号が自動的に連番で割り振られます。

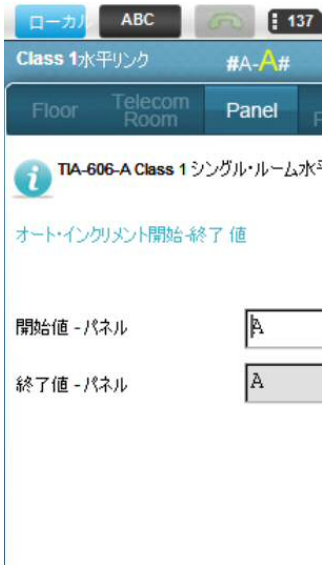


TIA 606-A Class 1 ラベリング

このラベリング方法は、 TIA 606-A Class 1 規格に準拠しています。これは、フロア、機器室、パッチパネルなどの各階層ごとのラベル名をサポートしています。

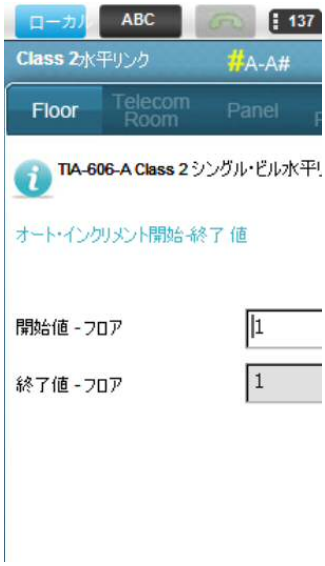






TIA 606-A Class 2

このラベリング方法は、 TIA 606-A Class 2 標準に準拠しています。これはバックボーン回線から機器室へのケーブルインストールををサポートしています。



アダプタ設定

WX4500 のテストアダプタは 4 種類あります。機器がメインユニットおよびリモートユニットに装着されているアダプタを自動的に検知しますので、試験項目の選択が簡単に行えます。

1．パーマネントリンクアダプタまたはチャネルアダプタを機器上部のテストアダプタポートに接続してください。
2．認証試験を行うケーブルをテストアダプタに接続してください。

アダプタ挿入カウント

WX4500 のテストアダプタには、実施したテスト回数をカウントするためのメモリチップが内蔵されており、アダプタの交換時期を確認することができます。アダプタの接続回数が耐用年数を越えた場合、画面上に警告表示が表示されます。

注意

本機を電話端子などの電源に接続しないでください。電圧が印加されると機器が破損します。
この場合は保証の対象になりません。

テスト項目の設定

メニューからテスト項目の選択に進み、テストしたい規格を選択してください。

ケーブルタイプの設定

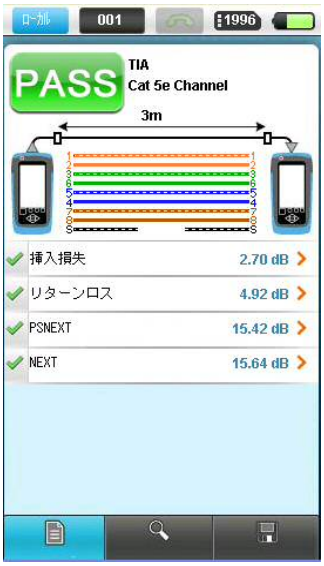
メニューのケーブルタイプの設定から適切なケーブルを選択してください。

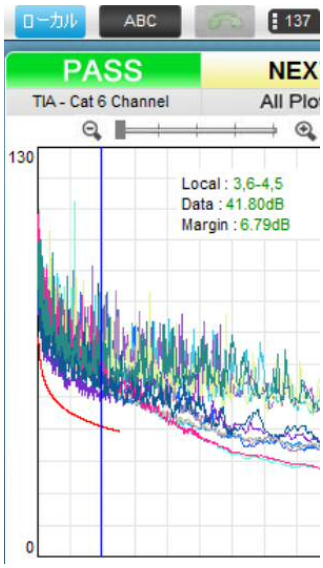
コネクタタイプの設定

コネクタタイプを選択してください。メニューから自動的にコネクタ製造元およびコネクタタイプを選ぶ画面に進みます。

オートテストの実行

設定が完了したら、オートテストボタンを押してオートテストを開始できます。





試験終了後、試験結果のサマリーウィンドーと画面左上に「合格」または「不合格」の判定が表示されます。
画面下段ナビゲーションタブ中央の操作タブを押すと、実行した試験全ての項目の結果（ワースト値との余地）が表示されます。各項目をクリックすると全ての測定値をプロットしたグラフが表示されます。そしてワースト値との最大差異を示す箇所に常にカーソルを表示します。
測定結果のオートセーブが有効になっていない場合、画面右下のフロッピーマークを押すと試験結果を保存する事が出来ます。

お問い合わせ先
原田産業株式会社 情報通信チーム
〒100-0005
東京都千代田区丸の内 1-2-1 東京海上日動ビル新館
Tel:03-3213-8391　Fax:03-3213-8399